

九州各県議会議長会 九州から世界へワンヘルス推進宣言

近年、地球温暖化による気候変動に伴い世界各地で異常気象が発生し、大型台風や豪雨、森林火災等の大規模自然災害が多発するとともに、農業や水産業にも深刻な影響を及ぼしている。また、世界的規模で進む森林、環境、資源等の無秩序な開発や都市化による生態系の損失と環境汚染などにより、今や地球の健康は重大な危機に瀕していると言って過言ではない。

さらに、こうした人と動物の生活環境と自然環境の変化は、生活圏が近づきすぎた人と動物を行き来する人獣共通感染症がときに猛威を振るい、イノシシ、シカ、クマなど野生動物による人や農作物等への被害が後を絶たない状況を招いている。

このような我々が直面する問題に対処し、生命を守り、次の世代のために美しく青い地球を守っていくためには、人と動物の健康と環境の健全性は密接に関連し合う不可分のものであることから、これらをひとつの「健康」として一体的に守るワンヘルス・アプローチが必要であるとの理解が、今、世界に広がっている。令和5年に開催されたG7広島サミットの首脳宣言で、その推進が明記され、今年2月の第221回国会における高市内閣総理大臣施政方針演説でも、国策としての取組が表明された。

このワンヘルス・アプローチの推進は、あらゆる分野に関係する総合的な取組であることから、医師、獣医師、環境学者等の分野横断的な専門家、経済人、文化人、教育者等、各界の力を結集すること、そして、ワンヘルスの理念を社会的実践活動や政策に落とし込む行政と政治家の取組が不可欠である。

このため、ワンヘルスの実現に向けて、われわれ議長会をはじめとする政治の力が今こそ必要であり、強く求められている。

そこで、新興・再興感染症の多発地帯であるアジアに面し、相互交流も盛んであり、ワンヘルスの実践を急務とする九州から、ワンヘルスに関する調査研究、人材確保、教育の普及等の促進に取り組むとともに、行政、大学等の研究機関、医薬、食品などワンヘルスに関係する各種団体・機関や企業等の国際的・広域的ネットワークづくりを率先して推進することを、ここに宣言する。

令和8年5月13日



| | | |
|----------|----|----|
| 福岡県議会議長 | 藏内 | 勇夫 |
| 佐賀県議会議長 | 宮原 | 真一 |
| 長崎県議会議長 | 外間 | 雅広 |
| 熊本県議会議長 | 内野 | 幸喜 |
| 大分県議会議長 | 嶋 | 幸一 |
| 宮崎県議会議長 | 外山 | 衛 |
| 鹿児島県議会議長 | 日高 | 滋 |
| 沖縄県議会議長 | 中川 | 京貴 |